

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	11
事業名	消防施設経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	3
政 策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課		
施 策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的（対象がどのような状態になっているか）	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。
事業内容	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。 町内全域に70基の防災行政無線子局を配備し、住民に災害への注意を呼びかけている。 常備消防及び消防団の消火活動において使用する消火栓の維持管理を町上下水道課へ委託、道路が狭隘等による場所の消火栓ボックスについては、自治会・自治会自主防災組織に管理を移管し、自治会・行政の協働による消防力の強化を進めている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				329,395		24,967		370,220	
財源 内訳	直接事業費A			326,419		21,991		367,418	
	うち一般財源			12,019		18,891		26,618	
人件費（千円）B				2,976		2,976		2,802	
内訳	一般職員（人・千円）			0.44	2904	0.44	2,904	0.37	2,442
	臨時職員（人・千円）			0.04	72	0.04	72	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	防災行政無線の継続的な維持管理 アナログ基地局撤去R5	③取組の課題	防災ラジオ廃止に伴い、行政メール登録の周知
②R5年度に実施した取り組み	笹尾城山地区のホース格納箱撤去 在来地区へのホース格納箱再配備場所確定 防災ラジオの廃止 防災行政無線アナログ基地局撤去 非常用発電機設置工事設計	④今後の改善計画	非常発電設備更新工事R6 在来地区ホース格納箱の設置撤去R6 防災行政無線子局バッテリー交換R9